

令和7年度当初予算 概要

令和7年2月
子ども家庭局

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計 (子ども家庭費)	76,361	70,727	5,634
母子父子寡婦福 祉資金特別会計	224	160	64
合計	76,585	70,887	5,698

※職員給与費を除く

2 主要施策



働く親に対する支援の充実

女性が「自分らしく」輝けるまち

拡充 シン・子育てファミリー・サポート事業 【200万円】

子育てと仕事の両立で特に負担が大きくなる育休復帰前後の期間をサポートするため、職場復帰を控えた会員について、1年間、利用料金を無償とするなど利用しやすい仕組みを構築。

○通常の会員



・利用料（1時間あたり）
500円



○育休復帰1年目の会員



・利用料
年24回まで無料

拡充 第2子以降の保育料無償化拡充 【380万円】

多子世帯の子育てを支援するため、保育料の無償化を幼稚園の2歳児保育における保育を必要とする第2子以降に拡充。

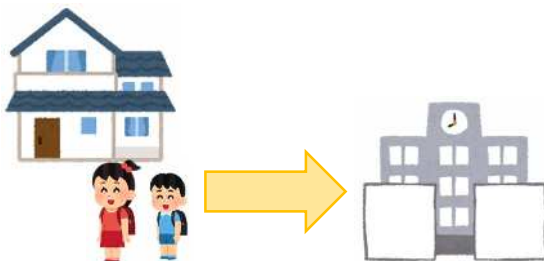
新規 送迎保育ステーション試行事業 【210万円】

保育施設へこどもを送迎する保護者の負担軽減を図るため、事業を試行的に実施し、その効果を検証。

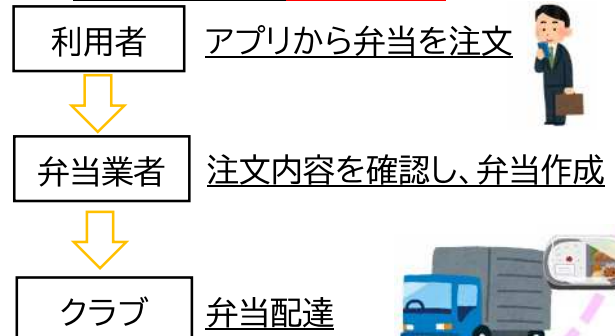
拡充 放課後児童クラブの長期休暇等利用者支援事業 【180万円】

長期休暇期間中等における保護者の負担を軽減するため、午前8時以前の受け入れを促進するとともに、期間中における昼食提供の支援を全市に拡大。

○午前8時以前の開所を促進



○昼食支援を全市に拡大



保育の受入体制の充実

女性が「自分らしく」輝けるまち

新規 保育人材雇用支援事業 【132百万円】

保育現場の働きやすい環境づくりを応援するため、施設が保育補助者等を雇用する費用の補助を拡充。

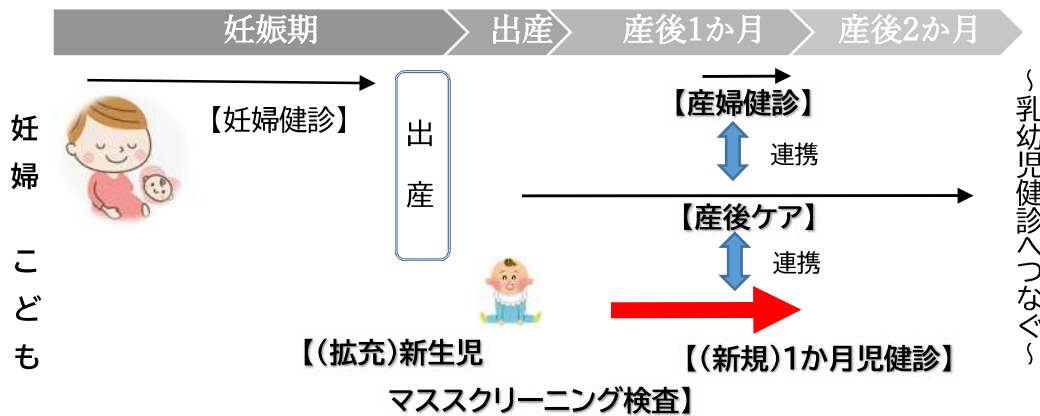


切れ目のない母子保健・医療体制の確保

新規 育ちのはじまりサポート事業 【147百万円】

妊産婦の不安や負担軽減を図るため、出産前後の支援体制を強化。

妊娠から産後の不安や養育リスクに対して伴走型で支援を行う



新たな子どもの居場所づくり

新規 青少年施設リニューアルプロジェクト 【10百万円】

こどもや若者を中心とした利用者ニーズの変化を踏まえ、青少年施設の機能の集約や民間活力の導入等を検討。



リニューアル!



※体験活動等の効果的な推進を図る最適あり方及び実施方法等の調査業務を委託



こどもまんなか city の推進

拡充 こどもまんなか city 推進事業

【11百万円】

こどもや子育て当事者を社会全体で応援する気運を醸成するための取組を実施。

1 こども目線でのまちづくり

令和6年度に実施した「みらい政策委員会」「かなえるポスト」でのこどもたちからの提案を実現。

- ・街灯を設置してほしい
- ・まちなかに時計を設置してほしい など

(※加えて、令和7年度のみらい政策委員会での提案を即実現するための予算を計上)



2 こどもや子育てにやさしいまちづくり

令和6年11月に策定した「北九州市こどもまんなかスイッチ！」を広く市内へ浸透させるための広報を実施。



【動画作成】

- ・日常の場面で具体的にアクションを実践できるようによびかけるもの



- ・YouTube
- ・X
- ・Instagram
- ・サイネージ
- 〔商業施設 公共交通〕 など

3 北九州市全体でこどもまんなかまちづくり

こどもや子育てにやさしい取組を実践する企業や団体等を増やし、「面」として市内に広げていくため、新たに「（仮称）こどもまんなかパートナー制度」を創設。また、パートナー企業と連携し、「こどもまんなか月間」にイベント等を実施。



（令和6年度
こども beat）

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「人」を育む

拡充	・シン・子育てファミリー・サポート事業	女性が「自分らしく」輝けるまち	20百万円
子育てと仕事の両立で特に負担が大きくなる育休復帰前後の期間をサポートするため、職場復帰を控えた会員について、1年間、利用料金を無償とするなど利用しやすい仕組みを構築			
拡充	・第2子以降の保育料無償化拡充	女性が「自分らしく」輝けるまち	38百万円
多子世帯の子育てを支援するため、保育料の無償化を幼稚園の2歳児保育における保育を必要とする第2子以降に拡充			
新規	・送迎保育ステーション試行事業	女性が「自分らしく」輝けるまち	21百万円
保育施設へこどもを送迎する保護者の負担軽減を図るため、事業を試行的に実施し、その効果を検証			
拡充	・放課後児童クラブの長期休暇等利用者支援事業	女性が「自分らしく」輝けるまち	18百万円
長期休暇期間中等における保護者の負担を軽減するため、午前8時以前の受け入れを促進するとともに、期間中における昼食提供の支援を全市に拡大			
	・乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)		22百万円
こどもの育ちを応援するとともに、子育て家庭に対する支援を強化するため、保護者の就労の有無を問わず利用できるこども誰でも通園制度を実施			

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

拡充	・こどもまんなかcity推進事業		11百万円
こどもや子育て当事者を社会全体で応援する気運を醸成するための取組を実施			
	・妊産婦健診等DX推進事業		27百万円
母子健康手帳アプリを活用し、乳幼児健診に加え、妊産婦健診等の手続きをICT化			

「安らぐまち」の実現

●子ども・子育ての「安心」を支える

新規	・育ちのはじまりサポート事業		147百万円
	妊産婦の不安や負担軽減を図るため、出産前後の支援体制を強化		
拡充	・妊婦のための支援給付		635百万円
	妊娠期からの切れ目ない支援を行うため、出産から子育てまで一貫して相談に応じる「妊婦等包括相談支援事業」と経済的な支援を効果的に組み合わせ実施		
新規	・保育人材育成事業	女性が「自分らしく」輝けるまち	28百万円
	新たな保育人材の確保、保育の質の向上、モチベーションアップなど、総合的に保育人材の育成を行うため、子育て支援員研修等を実施		
新規	・保育人材雇用支援事業	女性が「自分らしく」輝けるまち	132百万円
	保育現場の働きやすい環境づくりを応援するため、施設が保育補助者等を雇用する費用の補助を拡充		
	・子ども医療費支給事業		3,517百万円
	18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの保険診療による医療費の自己負担額を助成		
拡充	・放課後児童クラブ指導員の処遇改善事業		329百万円
	放課後児童クラブにおける指導員の処遇改善を実施		
新規	・青少年施設リニューアルプロジェクト		10百万円
	こどもや若者を中心とした利用者ニーズの変化を踏まえ、青少年施設の機能の集約や民間活力の導入等を検討		

【問合せ先（全体に関すること）】
子ども家庭局総務企画課
井上（課長）、秦（係長）
TEL 093-582-2280